



2024年2月15日

各 位

会社名 株式会社フィル・カンパニー
代表者名 代表取締役社長 金子 麻理
(コード番号：3267 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員経営管理本部長 竹内 剛史
(TEL：03-6264-1100)

当社取締役会の実効性評価の概要に関するお知らせ

当社取締役会は、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築と中長期的な企業価値向上を目指すため、株式会社東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 取締役会実効性評価の方法

当社取締役（社外取締役および監査等委員である取締役を含む計6名）に対して、「取締役会評価に関する質問票」による無記名回答方式でのアンケートを実施いたしました。なお、「取締役会評価に関する質問票」においては、各取締役より、当社取締役会の改善を検討すべき点など自由な意見や提案を求めています。主な質問事項は、以下のとおりです。

- 取締役会の規模、構成、運営状況（社外役員に対する支援体制を含む）
- 指名・報酬委員会の構成、活動、取締役および経営陣幹部の選任・解任、取締役の報酬
- 株主・投資家との関係および株主還元

2. 取締役会の実効性に関する分析および評価結果の概要

上記による評価の結果、当社の取締役会は、事業戦略やガバナンス改善に関する活発な議論を経たうえで経営判断が行われており、また業務執行に対して有効な監督機能が働いていることが確認され、取締役会の実効性が十分に確保されているとの結論に至りました。

一方で、議論が長くなり審議時間が足りなくなることや、決議が持ち越されることもあり、取締役会の審議内容の事前準備や議事進行に対処すべき課題があることを確認いたしました。

3. 今後の対応

上記の課題を踏まえ、取締役会における審議事項については、十分な事前検証および論点整理を行うとともに、会議資料の提出期限を原則3日前に設定することで、取締役会参加者が事前に情報収集を行える体制としました。また議事進行については、これまで通り、多様な意見や積極的な発言は尊重しつつ、本質論に絞った議論を行い滞りなく議事を進めることに取締役会参加者一同、認識を一致させました。今後とも適切かつスピーディな意思決定に資する取締役会運営に努めてまいります。

以 上